

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ビーナススクレセール		
○保護者評価実施期間	2024年 9月1日		～ 2024年 9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年9月1日		～ 2024年9月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年1015日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会に出た時を想定したトレーニング内容	スタッフ、利用児童を「〇〇さん」と呼ぶなど、大人になった時を想定したルールを設定している。	遅刻、欠席の連絡もできるだけ本人が電話で伝えるように指導し、状況を伝える力を養えるように取り組んでいる。
2	余暇を楽しめるように、好きを見つけるプログラム	スポーツ、手芸、工作、パソコンなど自分の好きを見つられる活動を行っている。 好きなことを楽しむことでストレス今ロールができることを目指します。	自分で選ぶ、考えることで更に自分が夢中になれる活動を実施する。
3	実践的なトレーニング	トレーニングの後半に学んだことを活かし、実践（演習）を行うことで、机上で学んだことを、さらに自分の中に落とし込みます。	子ども達の成長に合わせた、細かいレベル設定のあるトレーニング。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中学・高校となると学校の終了時間が遅くなるため活動時間の確保が困難。	メインのトレーニング時間スタート時間が早い。	トレーニング時間の見直し。
2	就労している保護者との連携	対面が難しいためLINEでのやり取りを主としているため。	保護者会や授業参観など保護者が参加できるものを開催する。
3	就労以降事業者との連携	利用児童の地域、ニーズに合った事業者との繋がりが少ない。	多くの事業者と繋がりを持ち、利用児童のニーズに合わせた情報提供ができるようにする。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ビーナスクレール

公表日 2024年10月30日

利用児童数 2024年10月12日

回収数 14

Table with 8 columns: Check Item, はい, どちらともいえない, いいえ, わからない, ご意見, ご意見を踏まえた対応. Rows are categorized by Environment/Regulation, Support Provision, Protection Support, and Emergency Response.

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ピーナズレゼル	公表日 2024年10月30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用者が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			
	2 利用職員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が図られているか。	100%			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎日清掃している活動に合わせて構成している	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		パーテーションで仕切る個室を必要に応じて活用している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を、広く職員が実施しているか。	100%			
	7 保護者向け研修等により、保護者等の意向等を把握する機会が設けられており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%		
	8 職員の意見等を把握する機会が設けられており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		
	10 職員の業務の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下、こどものニーズを考慮した検討が行われているか。	100%			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	15 こどもの個別行動の状況を、標準化したツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		ミーティングを定期的に開催している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの内容（支援すべき事項）」の「本人支援」、「障害支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の各項目及び支援内容も含まれながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		トレーニングについてのミーティングを定期的に開催している	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20 支援開始には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		子供の能力に合わせて柔軟に対応できるようチームとして動いている。	
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、良かった点等を共有しているか。	100%		朝礼を毎日行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		朝礼を毎日行っている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を継続的に実施して支援を行っているか。	75%	25%		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	100%		子供が「選べる」「考える」工夫をトレーニングに取り入れている。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議、こどもの状況をよく理解した上で参加しているか。	75%	25%		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%		
	28 学校との情報共有（学習計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の送迎等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	75%	25%		
	29 学校前に利用している倉庫等や倉庫、設定こども園、発達支援事業所等との間で情報共有や相互理解を促しているか。	50%	50%	中庭生体庫のため連携していない。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービスセンターへ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	25%	75%	新設の施設降る児童が少ない。	
保護者への説明	31 地域の発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%			
	33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	25%	75%		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	50%	50%		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して支援支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			
	36 療育情報、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37 放課後等デイサービス提供を成る際には、こどもや保護者の意向の尊重、こどもの意思や利用の意思を尊重し、必要に応じて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38 「放課後等デイサービス計画」を立案しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、適切な必要必要支援を行っているか。	100%			
	40 父母の会の活動に支援を受けること、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の交流を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。	50%	50%	今後開催予定	
事業時の対応	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42 定期的に連絡調整を行っていることや、HP/SNS等を活用することにより、活動調整や行事予定、連絡調整等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		SNSを活用している。	
	43 個人情報適切に十分留意しているか。	100%			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	75%	25%		
	46 防犯防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や児童等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。	75%	25%		
	48 事前に、販賣や予約接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	75%	25%		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	100%		対象なし	
	50 安全計画を作成し、安全確保に必要な研修や訓練、その他必要な研修を履修する等、安全管理が十分な中で実施が行われているか。	100%			
51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知しているか。	100%				
52 ビデオカメラを事業所内に設置し、再発防止に向けた方針について検討しているか。	100%				
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%				
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%				